

平成23年度国立大学法人運営費交付金予算（予定額）について

1. 予定額

1兆1,528億円 [前年度▲58億円(▲0.5%)減] (平成22年度 1兆1,585億円)

(内訳) 一般運営費交付金	9,321億円	(9,371億円)
特別運営費交付金	944億円	(873億円)
特殊要因運営費交付金	1,112億円	(1,154億円)
附属病院運営費交付金	151億円	(187億円)

※ 項目毎に四捨五入を行っているため、対前年度増▲減額において一致していない。

2. ポイント

(1) 新たな政策課題への対応

① 新成長戦略への対応

グリーン・イノベーションなどに関する大学の新たな教育研究プロジェクトの推進（65億円（新規））、世界最先端の研究を支える大学共同利用機関の新たな事業展開（121億円（対前年度同額））、社会人・留学生・障害を有する学生等に対する教育支援体制の充実（30億円（6億円増））など、「新成長戦略」の実現に資する取組を重点的に支援。

② 教育費負担の軽減

意欲と能力ある学生が経済状況にかかわらず修学の機会を得られるよう、平成22年度予算に引き続き授業料免除枠を拡大。授業料免除率を平成22年度の6.3%から学部・修士課程：7.3%、博士課程：12.5%にそれぞれ拡大。（225億円（29億円増））

③ 附属病院の機能強化

地域医療における高度医療拠点としての教育・研究・診療機能の強化を図るため、附属病院の債務負担軽減策を拡充するとともに、メディカル・イノベーションの中心的役割を担う取組を重点的に支援。

(参考)

附属病院に対する運営費交付金予定額

附属病院運営費交付金	151億円	(▲36億円減)
特別運営費交付金（地域医療拠点体制等充実支援経費）	233億円	(133億円増)
教育・研究・診療機能の充実のための債務負担軽減策の拡充等	133億円	(33億円増)
メディカル・イノベーションの中心的役割を担う国立大学附属病院が行う質の高い医療人養成や新しい治療法の開発に向けた環境整備等に対する重点支援	100億円	(新規)

計 384億円 (97億円増)

※ 附属病院運営費交付金の減額は、平成21年度決算及び平成22年度診療報酬改定を見込んだ附属病院収入見積りの見直しによる。

※ 上記のほか、平成22年度に引き続き、医学部入学定員増や組織改革の促進についても支援。

(2) 大学改革促進係数の設定

概算要求時、一律▲1.0%としていた「大学改革促進係数」については、附属病院を有しない法人：▲1.0%、附属病院を有する法人：▲1.3%、附属病院運営費交付金の交付を受ける法人：▲1.6%とし、国立大学法人全体で一般運営費交付金を▲108億円削減。

〔 なお、一般運営費交付金の減は新規組織整備への対応や授業料免除枠の拡大等により▲50億円の減にとどめている。 〕

(3) 「元気な日本復活特別枠」関係

概算要求時、「元気な日本復活特別枠」を活用して要望した884億円のうち、546億円を平成23年度予算案に計上。

(内訳)

事業番号1904

学習者の視点に立った総合的な学び支援及び「新しい公共」の担い手

育成プログラム

要望額：254億円 → 予定額：225億円

◆授業料免除枠の拡大

225億円

事業番号1905

「強い人材」育成のための大学の機能強化イニシアティブ

要望額：630億円 → 予定額：321億円

◆新成長戦略の実現に資する新たな教育研究プロジェクトの推進 65億円

◆世界最先端の研究を支える大学共同利用機関の新たな事業展開 121億円

◆デジタル・イノベーションを担う国立大学附属病院の教育研究の充実強化 100億円

◆サポート体制の強化による教育研究設備の有効活用の促進

(設備サポートセンターの整備)

5億円

(※このほか教育研究設備178億円を平成22年度補正予算(第1号)に計上。)

◆特別なニーズを抱える学生の受入れ支援強化

30億円

(4) その他

国立大学の教育研究活動の活性化を図るための基盤整備を支援するため、施設整備費補助金に大学教育研究特別整備費を新設。(58億円(新規))

平成23年度国立大学法人運営費交付金予定額の概要

(大学共同利用機関法人を含む90法人)

(収 入)

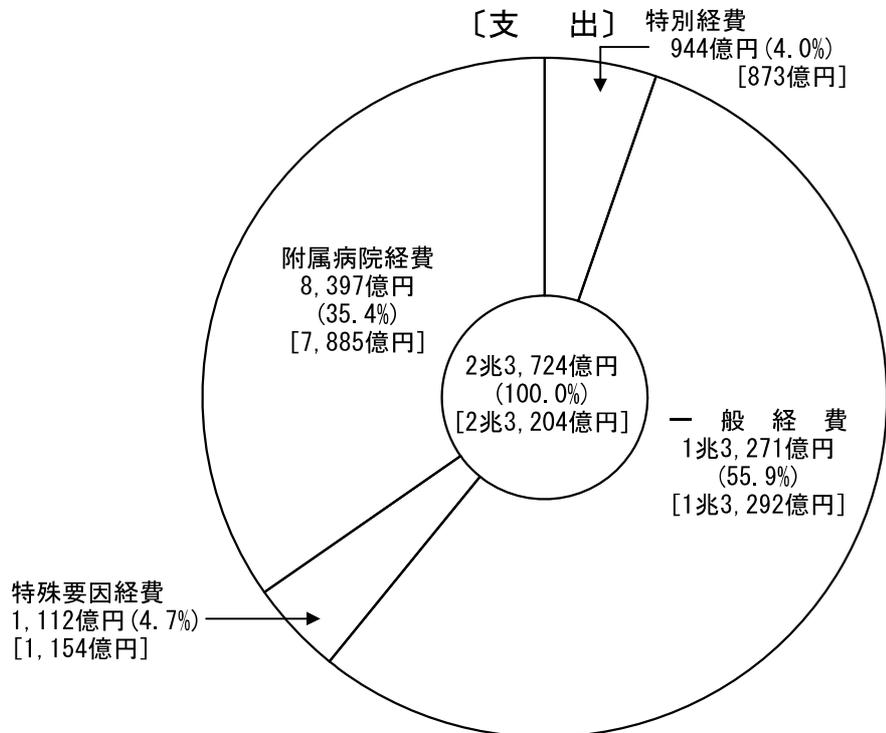
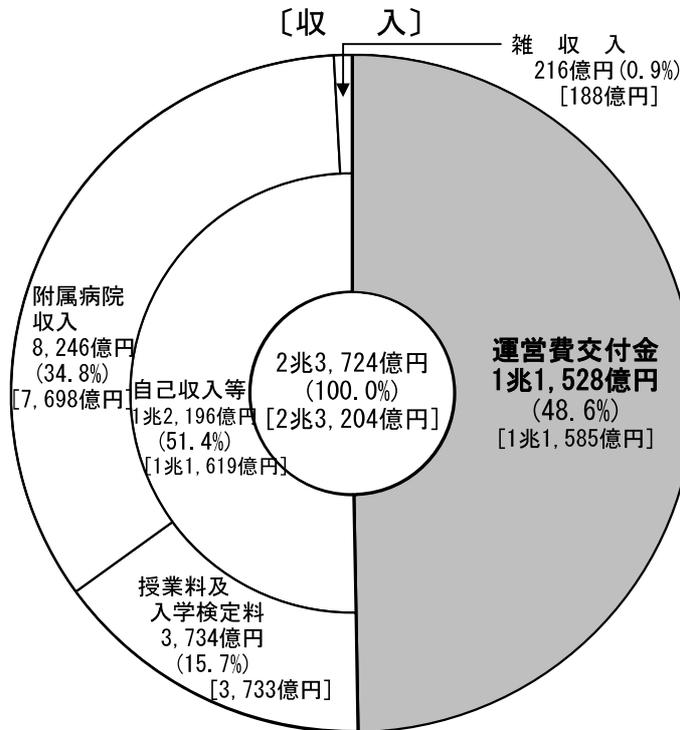
(支 出)

	(収 入)		
【 1億円増】	授 業 料 等 3, 7 3 4 億円 (3, 7 3 3 億円)		
【 28億円増】	雑 収 入 2 1 6 億円 (1 8 8 億円)		
【▲58億円減】	運 営 費 交 付 金 1 1, 5 2 8 億円 (1 1, 5 8 5 億円)	一 般 経 費 1 3, 2 7 1 億円 (1 3, 2 9 2 億円)	【▲21億円減】
	(一般運営費交付金 9,371億円 → 9,321億円)		
	(特別運営費交付金 873億円 → 944億円)	特 別 経 費 944億円 (873億円)	【 71億円増】
	(特殊要因運営費交付金 1,154億円 → 1,112億円)	特 殊 要 因 経 費 1,112億円 (1,154億円)	【 ▲42億円減】
	(附属病院運営費交付金 187億円 → 151億円)		
【 548億円増】	附 属 病 院 収 入 8, 2 4 6 億円 (7, 6 9 8 億円)	附 属 病 院 経 費 8, 3 9 7 億円 (7, 8 8 5 億円)	【 512億円増】 H23見込反映による 一般診療経費の増 496億円 債務償還経費の増 16億円
H23 見込反映 による増			
	事 業 費	2 3, 7 2 4 億円 (2 3, 2 0 4 億円)	

- ※1. 項目毎に四捨五入を行っているため、対前年度増▲減額において一致していないものがある。
2. 本資料においては、外部資金（受託研究収入、寄附金収入、特許料収入等）など、運営費交付金算定対象外のものに係る計数は含んでいない。
3. 各項目における（）書きは、前年度の金額である。
4. 前年度の金額における「授業料等」及び「一般経費」においては、一部組替掲記を行っている。
5. 附属病院収入予算額は、平成21年度決算等を踏まえた平成23年度見込額。
 (参考) 平成21年度附属病院収入決算額 7,723億円 (決算報告書ベース)

平成23年度国立大学法人運営費交付金予定額の構成 (大学共同利用機関法人を含む90法人)

平成22年度 運営費交付金 算額	平成23年度 運営費交付金 予定額	対前年度 増▲減額	増▲減率
1兆1,585億円	1兆1,528億円	▲58億円	▲0.5%



- ※1. 項目毎に四捨五入を行っているため、対前年度増▲減額において一致していないものがある。
2. 本資料においては、外部資金（受託研究収入、寄附金収入、特許料収入等）など、運営費交付金算定対象外のものに係る計数は含んでいない。
3. 各項目における〔〕書きは、前年度の金額である。
4. 前年度の金額における「授業料及入学検定料」及び「一般経費」においては、一部組替掲記を行っている。
5. 附属病院収入支出予算額は、平成21年度決算等を踏まえた平成23年度見込額。
(参考) 平成21年度附属病院収入決算額 7,723億円 (決算報告書ベース)